

キャンドルのつどい

キャンドルのつどいは、神秘的な雰囲気の中で、灯のもつ明るさと暖かさを見つめながら行います。

自己の過去をかえりみ、現在を知り、未来を考え、これからの人生の活力を生み出す機会にするとともに、参加者の友情を深めます。



活動のねらい

静かに自己をみつめ、自らを高めようとする意欲を培います。
仲間との交歓を通して、思い出をつくり、お互いの友情を深めます。

一斉実施可能人数	264人	活動季節・条件	通年
所要時間	1～2時間	実施場所	講堂、体育館、剣道場など
主な対象	幼児～		
指導について	キャンドルのつどいは自主活動を原則としますが、依頼があれば交流の家研修指導員が指導します(有料)。その場合の指導は21時までとし、指導時間は1.5時間程度です。また、研修指導員による指導料については、ガイドブックをご参考ください。 ※研修指導員に指導を依頼した場合は、1部～3部まで全て別紙(国立三瓶青少年交流の家キャンドルのつどい詳細要項)のとおりを実施していただきます。また、進行は、全て研修指導員が行います。 ※研修指導員に指導を依頼したときは、実施のおおむね1週間前までに指導員との個別の打合せが必要です。		

活動の概略

- ①1部 迎火のつどい(火を迎えるセレモニーとして厳粛に実施する。)
 - ②2部 交歓のつどい(友情と親睦を深めるよう全員協力して楽しく実施する。)
 - ③3部 送火のつどい(火を送るセレモニーとして厳粛に実施する。)
- ※団体自主活動の場合は、オリジナリティあふれる活動をどうぞ！

準備物

交流の家が貸し出しできる用具・材料

- 中央燭台
- 大燭台(手持ち)
- 小燭台(手持ち、置き)
- 大ローソク(100号)※1セット10本を基本とする
- キャンドルセット(まことの火のランプ、火消し、竹べら、金属のバケツ、ポリバケツ)
- 竹べら(ロウ落とし用)
- 中央燭台用シート(体育館、剣道場)
- ワイヤレスマイク、マイクスタンド
- CDデッキ

利用者または団体で準備する用具・材料

- 小ローソク
- スタンツ小道具

交流の家(食堂)で購入できる物

- 小ローソク(3号)1箱66本入り

※購入物品の金額については、交流の家HPや「利用ガイドブック」をご確認ください。

当日の動き

- ①打合せ 実施場所、会場準備の手順と開始時間、実施に必要な物品の確認をします。研修指導員に指導を依頼した場合は、実施前に指導員との打合せも必要です。
- ②用具の受け取り、会場準備 食堂で物品を購入するときは、物品を受け取った後、会場準備をします。会場によってはシートを敷き、中央燭台や大ローソク、小ローソクの準備などをします。夕べのつどいまでに準備が終わるように、遅くとも16:30には準備を開始してください。
- ③活動(展開) 自主活動が基本ですが、研修指導員に指導を依頼することもできます。
- ④用具の片づけ 終了後は、担当者が指示して用具を元の場所に戻しておいてください。床に落ちたロウは、竹べらで落とし、掃除をしておいてください。放送設備や電気等の電源をOFFにしておいてください。

安全対策・環境への留意点

- ロウが垂れて付くと熱いので、火のついたローソクは傾けないよう指導してください。

備考

- 研修指導者を交流の家に依頼した場合は、「国立三瓶青少年交流の家キャンドルのつどい詳細要項」を十分理解しておいてください(スタッフの役割分担、スタンツの内容を決めておくことなど)。